



高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板



【5月のテーマ】 手足口病

今月のテーマはこれから夏季に向けて乳幼児期を中心に流行する、『手足口病』についてご案内です。

高田病後児保育所スタッフより

☆『原因・症状』

手足口病は、夏季を中心に口の粘膜、手のひら・足の甲や裏などに現れる2～3ミリの水疱性の発疹が現れます。また咳やくしゃみなどによる「飛沫感染」、水疱の内容物、便に排出されたウイルスが手などを介する「接触感染」によってうつり、3日から5日の潜伏期間のあとに発症します。

☆『治療・予防』

治療はウイルスに対する薬が無いため、対症療法が中心となります。また手足口病を予防するワクチンは、まだ実用化されていません。そのため、手洗いなど一般的な予防法を実施することが大切です。多くの場合は、3日から7日ほどの自然経過で治癒します。

☆『ご家庭でも気をつけて』

手足口病の時は口の中に水疱ができるため、なるべく刺激が少なく、のどごしが良く、水分を含んでいるもの(ゼリー、冷ましたおかゆやスープなど)をおすすめします。

回復後も飛沫や鼻水、からは1～2週間、便からは数週間から数か月ウイルスは排出されるので、おむつの排便処理の際には、留意して対応を行っててください。

☆『登園・登校について』

学校保健安全法では、明確な規定はありません。お子さんが通われている園や学校にご相談のうえ登園・登校を行ってください。

